

リケン、超高性能フェライトタイル電波吸収体(RF043型)を開発

株式会社リケン（社長：小泉年永、以下リケン）と株式会社リケン環境システム（社長：小笠原 弘三、以下リケン環境システム）は、日立金属株式会社（東京都港区芝浦一丁目2番1号）と共同で電波暗室用に超高性能電波吸収体（RF043型）の開発に成功しました。

新製品は周波数30MHzの帯域において、従来製品の約2倍（当社比）である「25dB」の電波吸収性能を実現し、フェライトタイル電波吸収体としては世界最高水準の製品となります。

リケン環境システムは、財団法人直轄情報・産業振興協会様（福岡県直方市）に、この電波吸収体を使用した10m法電波暗室を納入しました（3月15日竣工、電波暗室サイズ：12m×21m×9.2m、クワイエットゾーン3m直径）。

第三者機関による認証測定の結果、この電波暗室は、フェライトタイル電波吸収体のみで±3dB、ハイブリッド電波吸収体複合使用にて±2dBという、非常に高い電波暗室性能（NSA法）を発揮し、同機関から「A2LA」（注1）ロゴ付の検査報告書を取得しております。

これによりリケン環境システムは、世界最小・最高性能レベルの10m法電波暗室を供給可能なことを実証致しました。この電波吸収体を使用した10m法電波暗室を、国内外にて既に6基受注しており、今後も受注の拡大が予想されます。

新型電波吸収体の開発完了に併せて、リケン環境システムは、同社熊谷事業所内（埼玉県熊谷市）にEMC開発センターを新設しました。同センターには、上記の新型電波吸収体を使用した3m法電波暗室を始め、シールドルーム、実物大の電波吸収体を評価できる大型同軸管（サイズ：1.8m×1.8m×12m）、大型導波管、マイクロ波・ミリ波用電波吸収量評価装置など、EMC評価設備を完備しました。

これにより、電波吸収体の開発スピードを格段に速め、品質・価格・技術・サービスの面で、EMC分野における世界トップブランドを目指します。

【財団法人 直轄情報・産業振興協会様 電波暗室】



【製品/販売に関するお問い合わせ】

株式会社リケン環境システム
TEL 048-521-5471

【報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社リケン 経営企画部
TEL 03-3230-3912

（注1）A2LA: American Association for Laboratory Accreditation
米国試験所認定協会